

■新旧対照表

新	旧
<p>(P206)【文章修正】  <b>(1)文化財の保存・活用の現状と今後の方針</b>            本市には、<b>国指定の文化財26件、県指定73件、市指定83件</b>  <b>国登録の有形文化財37件と記念物1件、市登録の有形・無形の文化財3件</b>  <b>国・県・市の記録選択となっている無形の民俗文化財が4件</b></p> <p><b>第5章 文化財の保存及び活用に関する事項</b></p> <p><b>1. 市全体に関する事項</b></p> <p><b>(1) 文化財の保存・活用の現状と今後の方針</b></p> <p>本市には、<b>国指定の文化財26件、県指定73件、市指定83件</b>の有形・無形の文化財が所在している。このほか<b>国登録の有形文化財37件と記念物1件、市登録の有形・無形の文化財3件</b>、国・県・市の記録選択となっている<b>無形の民俗文化財が4件</b>ある。</p> <p>これらの指定文化財などは、文化財保護法、大分県文化財保護条例、大分市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引きつづき保護を図る。また、所有者などの理解のもと、その価値を広く認知し、後世に受け継いでいくため、歴史的建造物の公開・活用や情報発信、ユニバーサルデザインへの取り組みを進める。</p> <p>未指定の文化財については、文化財の指定・登録が進むよう、大学などの研究機関と連携し、歴史的建造物などに関する調査成果の推進や共有を図るとともに、その価値が認められたものについては、文化財指定・登録制度を活用し、保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備、防災対策などを実施する。また、第3章で挙げた「歴史的風致の周辺環境整備及び景観に関する課題」や「歴史的風致の情報発信と観光への活用に関する課題」などは、課題解決に向けた方針に基づき対応していく。</p> <p>なお、「文化財保存活用地域計画」については大分県による「文化財保存活用大綱」が策定されたのち、その内容を踏まえつつ策定に向けた検討を進める。</p> <p>○有形文化財(建造物)</p>	<p>(P206)【文章修正】  <b>(1)文化財の保存・活用の現状と今後の方針</b>            本市には、<b>国指定の文化財25件、県指定77件、市指定81件</b>  <b>国登録有形文化財35件</b>  <b>国・県・市の記録選択となっている無形の民俗文化財が3件</b></p> <p><b>第5章 文化財の保存及び活用に関する事項</b></p> <p><b>1. 市全体に関する事項</b></p> <p><b>(1) 文化財の保存・活用の現状と今後の方針</b></p> <p>本市には、<b>国指定の文化財25件、県指定77件、市指定81件</b>の有形・無形の文化財が所在している。このほか<b>国登録有形文化財35件</b>、国・県・市の記録選択となっている<b>無形の民俗文化財が3件</b>ある。</p> <p>これらの指定文化財などは、文化財保護法、大分県文化財保護条例、大分市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引きつづき保護を図る。また、所有者などの理解のもと、その価値を広く認知し、後世に受け継いでいくため、歴史的建造物の公開・活用や情報発信、ユニバーサルデザインへの取り組みを進める。</p> <p>未指定の文化財については、文化財の指定・登録が進むよう、大学などの研究機関と連携し、歴史的建造物などに関する調査成果の推進や共有を図るとともに、その価値が認められたものについては、文化財指定・登録制度を活用し、保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備、防災対策などを実施する。また、第3章で挙げた「歴史的風致の周辺環境整備及び景観に関する課題」や「歴史的風致の情報発信と観光への活用に関する課題」などは、課題解決に向けた方針に基づき対応していく。</p> <p>なお、「文化財保存活用地域計画」については大分県による「文化財保存活用大綱」が策定されたのち、その内容を踏まえつつ策定に向けた検討を進める。</p> <p>○有形文化財(建造物)</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P209)【文章修正】  <b>(8)文化財行政の体制と今後の方針</b>  <b>専門職員として19名(考古・史跡調査13名、文献調査2名、建造物保存修理1名、民俗調査1名、記念物調査担当2名)、事務職員14名、会計年度任用職員30名</b>  <b>地方教行政の組織及び運営に関する法律第21条</b></p> <p><b>(8) 文化財行政の体制と今後の方針</b>          本市における文化財関連業務は、教育委員会が担当しており、<b>専門職員として19名(考古・史跡調査13名、文献調査2名、建造物保存修理1名、民俗調査1名、記念物調査担当2名)、事務職員14名、会計年度任用職員30名</b>を配置している。</p> <p>文化財の保存・活用に当たっては、地方教育行政の組織及び運営に関する<b>法律第21条</b>第14号の規定により、教育委員会の職務権限とされていることから、文化財課が関連する取り組みを推進するものとする。</p> <p>また、歴史的風致を維持・向上させる上で、未指定の文化財を市指定とすることを目指す場合には、大分市文化財保護条例第20条第3項に基づき、設置している大分市文化財保護審議会(考古、古代史、中世史、近世史、建築史、民俗、美術、工芸、動物、植物の10名)に諮り、検討するものとする。今後も現在の体制を基本に文化財の保存・活用を図り、必要に応じて「大分市歴史的風致維持向上検討協議会」との連携を図る。</p> <p><b>(9) 住民・NPO法人等各種団体の状況及び今後の体制整備の方針</b>          本市の文化財を保存・活用していくためには、行政機関だけで取り組むのは困難であるため、地域において文化財の保存や活用に取り組んでいる団体との連携を図ることが重要である。</p> <p>本市における文化財の保存・活用に関わる団体は、下記に示す団体であり、それぞれが文化財の調査や情報発信、無形の民俗文化財を保護・伝承する活動などに取り組んでいる。今後はこれら各団体の多様な活動の継続とさらなる活性化を図るため、必要に応じて情報提供、人材育成、ガイドの育成などを支援し、市民を主体とした文化財の保全・活用の活動を推進していく。</p>	<p>(P209)【文章修正】  <b>(8)文化財行政の体制と今後の方針</b>  <b>専門職員として18名(考古・史跡調査15名、文献調査2名、建造物保存修理1名)、事務職員21名、嘱託職員19名、臨時職員2名</b>  <b>地方教行政の組織及び運営に関する法律第23条</b></p> <p><b>(8) 文化財行政の体制と今後の方針</b>          本市における文化財関連業務は、教育委員会が担当しており、専門職員として18名(考古・史跡調査15名、文献調査2名、建造物保存修理1名)、事務職員21名、嘱託職員19名、臨時職員2名を配置している。</p> <p>文化財の保存・活用に当たっては、地方教育行政の組織及び運営に関する<b>法律第23条</b>第14号の規定により、教育委員会の職務権限とされていることから、文化財課が関連する取り組みを推進するものとする。</p> <p>また、歴史的風致を維持・向上させる上で、未指定の文化財を市指定とすることを目指す場合には、大分市文化財保護条例第20条第3項に基づき、設置している大分市文化財保護審議会(考古、古代史、中世史、近世史、建築史、民俗、美術、工芸、動物、植物の10名)に諮り、検討するものとする。今後も現在の体制を基本に文化財の保存・活用を図り、必要に応じて「大分市歴史的風致維持向上検討協議会」との連携を図る。</p> <p><b>(9) 住民・NPO法人等各種団体の状況及び今後の体制整備の方針</b>          本市の文化財を保存・活用していくためには、行政機関だけで取り組むのは困難であるため、地域において文化財の保存や活用に取り組んでいる団体との連携を図ることが重要である。</p> <p>本市における文化財の保存・活用に関わる団体は、下記に示す団体であり、それぞれが文化財の調査や情報発信、無形の民俗文化財を保護・伝承する活動などに取り組んでいる。今後はこれら各団体の多様な活動の継続とさらなる活性化を図るため、必要に応じて情報提供、人材育成、ガイドの育成などを支援し、市民を主体とした文化財の保全・活用の活動を推進していく。</p>

■新旧対照表

新						
<b>(P246～247)【文化財一覧の修正】</b>						
<b>(重要文化財1件訂正、史跡1件追加・登録有形文化財2件追加、登録記念物追加)</b>						
大分市にある国指定等文化財一覧 ア 重要文化財						
<b>(P246)重要文化財の所在地の訂正 1件</b>						
大分市にある国・県・市指定等の文化財一覧						
大分市にある国指定等文化財一覧						
ア 重要文化財						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
①	太刀	八幡	栴原八幡宮	昭和25.8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代
②	太刀	八幡	栴原八幡宮	昭和25.8.29	銘 源国(以下一字並年号不明) 長さ 108cm	鎌倉時代
③	鎌刀直し刀	八幡	栴原八幡宮	昭和25.8.29	銘 表 国重八幡大菩薩 裏 天満大自在天神	鎌倉時代末期～南北朝時代
④	銅造仏像	八幡	栴原八幡宮	昭和25.8.29	社伝 阿弥陀如来立像 金剛仏 高さ 11.25kg 像高 30.3cm	白鳳時代
⑤	木造普賢延命菩薩坐像	八幡	大山寺	昭和50.6.12	樹材 像高 87.7cm	平安時代
⑥	後藤家住宅	栴原	個人所有	昭和50.6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造 茅葺	江戸時代
⑦	白檀塗高懸糸威履巻附・大袖・小具足付	八幡	栴原八幡宮	昭和55.6.6	胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 襷紐高 18.0cm	室町時代末期
⑧	木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平成3.6.21	文保2年(1318)康俊作 樟材寄木造 像高 303.8cm	鎌倉時代
⑨	栴原八幡宮文書	八幡	栴原八幡宮	平成3.6.21	栴原官領関係史料(213通) 元和7年	平安時代～江戸時代
⑩	帆足家伝来田能村竹田関係資料	大分市	大分市	平成6.6.28	紙本墨画淡彩花卉図外25点	江戸時代
⑪	栴原八幡宮	八幡	栴原八幡宮	平成23.6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・押殿・横門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟	江戸～明治時代
⑫	大分県府内大友氏遺跡出土品	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	令和1.7.23	大友氏居館周辺の町屋や寺院跡での出土品計1269点。中国や朝鮮半島、東南アジア産の陶磁器、キリスト教に関わるメダル、ガラス製のコンタ。	戦国時代
⑬	紙本淡彩箱川舟遊図	大分県立美術館	大分県	昭和37.6.21	田能村竹田筆 文政12年(1829)の作。	江戸時代
⑭	絹本着色歳華三友雙鶴図	大分県立美術館	大分県	昭和38.7.1	田能村竹田筆 天保3年(1832)頼山陽筆 角田九華の賛がある。屈曲する梅の幹の下に双鶴を配し、椿竹を添える。	江戸時代
イ 史跡						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
⑮	豊後国分寺跡	国分	大分市	昭和8.2.28	国分僧寺 追加指定(昭和58.9.8 昭和61.5.28)	奈良時代
⑯	大分元町石仏	元町	大分市	昭和9.1.22	日蓮または日蓮の作と伝えられる保存修理 昭和46・52・53・61年以降	平安時代
⑰	高瀬石仏	高瀬	大分市	昭和9.1.22	石意を彫り込み奥壁に裏を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
⑱	千代丸古墳	宮苑	大分市	昭和9.5.1	装飾古墳 横穴式石室	古墳時代後期
⑲	藜山古墳	本神崎	八幡神社	昭和11.9.3	前方後円墳 箱式石棺	古墳時代中期
⑳	古宮古墳	三芳	大分市	昭和58.5.11	石棺式石室墳 九州では他に例なし	古墳時代終末期
㉑	亀塚古墳	里	大分市	平成8.3.28	前方後円墳 全長約116m	古墳時代中期
㉒	大友氏遺跡	顕徳	大分市	平成13.8.13	九州6国を支配した大友宗麟を全盛期とする戦国大名・大友氏の拠点方2町(200m四方)の大友氏館跡、旧万寿寺跡・御藏場・上原館からなる	戦国時代
㉓	横尾貝塚	横尾	大分市	平成21.2.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる縄文時代からの地形と自然がよく残されている	縄文時代

旧						
<b>(P246～247)【文化財一覧の修正】</b>						
大分市にある国指定等文化財一覧 ア 重要文化財						
<b>(P246)</b>						
大分市にある国・県・市指定等の文化財一覧						
大分市にある国指定等文化財一覧						
ア 重要文化財						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
①	太刀	八幡	栴原八幡宮	昭和25.8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代
②	太刀	八幡	栴原八幡宮	昭和25.8.29	銘 源国(以下一字並年号不明) 長さ 108cm	鎌倉時代
③	鎌刀直し刀	八幡	栴原八幡宮	昭和25.8.29	銘 表 国重八幡大菩薩 裏 天満大自在天神	鎌倉時代末期～南北朝時代
④	銅造仏像	八幡	栴原八幡宮	昭和25.8.29	社伝 阿弥陀如来立像 金剛仏 高さ 11.25kg 像高 30.3cm	白鳳時代
⑤	木造普賢延命菩薩坐像	八幡	大山寺	昭和50.6.12	樹材 像高 87.7cm	平安時代
⑥	後藤家住宅	栴原	個人所有	昭和50.6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造 茅葺	江戸時代
⑦	白檀塗高懸糸威履巻附・大袖・小具足付	八幡	栴原八幡宮	昭和55.6.6	胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 襷紐高 18.0cm	室町時代末期
⑧	木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平成3.6.21	文保2年(1318)康俊作 樟材寄木造 像高 303.8cm	鎌倉時代
⑨	栴原八幡宮文書	八幡	栴原八幡宮	平成3.6.21	栴原官領関係史料(213通) 元和7年	平安時代～江戸時代
⑩	帆足家伝来田能村竹田関係資料	大分市	大分市	平成6.6.28	紙本墨画淡彩花卉図外25点	江戸時代
⑪	栴原八幡宮	八幡	栴原八幡宮	平成23.6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・押殿・横門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟	江戸～明治時代
⑫	大分県府内大友氏遺跡出土品	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	令和1.7.23	大友氏居館周辺の町屋や寺院跡での出土品計1269点。中国や朝鮮半島、東南アジア産の陶磁器、キリスト教に関わるメダル、ガラス製のコンタ。	戦国時代
⑬	紙本淡彩箱川舟遊図	大分県立美術館	大分県	昭和37.6.21	田能村竹田筆 文政12年(1829)の作。	江戸時代
⑭	絹本着色歳華三友雙鶴図	大分県立美術館	大分県	昭和38.7.1	田能村竹田筆 天保3年(1832)頼山陽筆 角田九華の賛がある。屈曲する梅の幹の下に双鶴を配し、椿竹を添える。	江戸時代
イ 史跡						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
⑮	豊後国分寺跡	国分	大分市	昭和8.2.28	国分僧寺 追加指定(昭和58.9.8 昭和61.5.28)	奈良時代
⑯	大分元町石仏	元町	大分市	昭和9.1.22	日蓮または日蓮の作と伝えられる保存修理 昭和46・52・53・61年以降	平安時代
⑰	高瀬石仏	高瀬	大分市	昭和9.1.22	石意を彫り込み奥壁に裏を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
⑱	千代丸古墳	宮苑	大分市	昭和9.5.1	装飾古墳 横穴式石室	古墳時代後期
⑲	藜山古墳	本神崎	八幡神社	昭和11.9.3	前方後円墳 箱式石棺	古墳時代中期
⑳	古宮古墳	三芳	大分市	昭和58.5.11	石棺式石室墳 九州では他に例なし	古墳時代終末期
㉑	亀塚古墳	里	大分市	平成8.3.28	前方後円墳 全長約116m	古墳時代中期
㉒	大友氏遺跡	顕徳	大分市	平成13.8.13	九州6国を支配した大友宗麟を全盛期とする戦国大名・大友氏の拠点方2町(200m四方)の大友氏館跡、旧万寿寺跡・御藏場・上原館からなる	戦国時代
㉓	横尾貝塚	横尾	大分市	平成21.2.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる縄文時代からの地形と自然がよく残されている	縄文時代

■新旧対照表

新

(P246~247)【文化財一覧の修正】

大分市にある国指定等文化財一覧 イ 史跡

(P246)史跡1件追加

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㉔	里官衙遺跡	里	大分市	令和 4.11.10	大分市東部に位置する飛鳥時代から奈良時代にかけての官衙遺跡。	飛鳥時代～奈良時代

ウ 天然記念物

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㉔	柗原八幡宮のクス	八幡	柗原八幡宮	大正 11.3.8	自生のクス 樹高約 30m 幹囲約 18.5m	
㉕	高崎山のサル生息地	神崎	大分市	昭和 28.11.14	都市近郊における日本猿の自然的集団	

エ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㉕	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭和 61.12.17	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	県選択市指定

オ 登録有形文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㉔	大分銀行赤レンガ館 (旧二十三銀行本店・旧府内会館)	府内町	㈱大分銀行	平成 8.12.20	鉄筋コンクリート造 2階建 スレート及び瓦葺	大正 2年(1913)
㉕	太田鉦詰工場主屋	白木	㈱秀親	平成 11.6.7	木造 2階建 寄棟造 洋風の玄関特徴 接客用 座敷や和室の居住部分と工場事務所併設	明治 39年(1908)
㉖	太田鉦詰工場土蔵	白木	㈱秀親	平成 11.6.7	切妻造の 2階建て 外壁漆喰仕上げ	明治 39年(1908)
㉗	太田鉦詰工場石倉	白木	㈱秀親	平成 11.6.7	外壁周りを石造 軒周り漆喰仕上げ 正面左右に 2つ出入り口があるのが特徴	大正時代
㉘	炭本家住宅主屋	坂ノ市	個人所有	平成 17.7.12	木造平屋建て一部 2階建 瓦葺 建築面積 244㎡	江戸時代末期
㉙	帆足家分家住宅 「松石不老館」主屋	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	入母屋造 棧瓦葺 木造 2階建 通り土間をもつ商家建築の形式	明治 39年(1908)
㉚	帆足家分家住宅	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	寄棟造 棧瓦葺 木造平屋建 南側に広縁をとり中庭を望む 門及び塀は棧瓦葺	明治時代中期
㉛	帆足家分家住宅 「松石不老館」道具蔵	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切妻造 棧瓦葺 土蔵造 2階建 切石積み の上に建つ 海鼠壁	明治時代中期
㉜	帆足家分家住宅	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切妻造 棧瓦葺 土蔵造 2階建 切石積みの上に建つ 海鼠壁 棧瓦葺後の板葺及び門	明治時代中期
㉝	帆足家分家住宅 「松石不老館」湯殿及び風呂	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	湯殿を南北棟 風呂を東西棟とし、両棟が 接して建つ 寄棟及び入母屋の屋根 共に棧瓦葺	明治時代中期
㉞	帆足家分家住宅 「松石不老館」井戸上屋	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切石積みの基礎の上に四方に柱を立て 切妻造 棧瓦葺 切石を長方形の井桁に組む	明治時代中期
㉟	帆足家分家住宅 「松石不老館」穀物蔵	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切妻造 棧瓦葺 土蔵造 2階建 引戸口 2 箇所 全長に吹き放ちの下屋 切石積みの上に建つ	明治 22年(1889)
㊱	帆足家分家住宅 「松石不老館」味噌蔵	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切妻造 棧瓦葺 木造平屋建 下屋北側 2間半分を壁で囲む 切石積みの上に建つ	明治 22年(1889)
㊲	帆足家分家住宅 「松石不老館」蔵二階	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	寄棟 棧瓦葺 木造 2階建 蔵木戸中央に 1間幅の観音開きの木戸口	明治時代中期
㊳	帆足家分家住宅 「松石不老館」門	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	間口は 2.7m、棟門の形式 棧瓦葺、木造 両脇に塀を結び、 門脇に障戸を設ける	明治時代中期

旧

(P246~247)【文化財一覧の修正】

大分市にある国指定等文化財一覧 イ 史跡

(P247)

大分市にある国・県・市指定等の文化財一覧

大分市にある国指定等文化財一覧

ア 重要文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
①	太刀	八幡	柗原八幡宮	昭和 25.8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代
②	太刀	八幡	柗原八幡宮	昭和 25.8.29	銘 源国 (以下一字並年号不明) 長さ 108cm	鎌倉時代
③	短刀直し刀	八幡	柗原八幡宮	昭和 25.8.29	銘 素 田重八幡大番薩 風 天壽大自在五神	鎌倉時代末期～ 南北朝時代
④	銅造仏像	八幡	柗原八幡宮	昭和 25.8.29	社伝 阿彌陀如来立像 金剛仏 高さ 11.25kg 像高 30.3cm	白鳳時代
⑤	木造菅實延命 普賢坐像	八幡	大山寺	昭和 50.6.12	樹材 像高 87.7cm	平安時代
⑥	後藤家住宅	杵ヶ原	個人所有	昭和 50.6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造 茅葺	江戸時代
⑦	白覆蓋高懸糸威腰巻 野・大袖・小具足付	八幡	柗原八幡宮	昭和 55.6.6	柄高 32.3cm 草摺高 28.5cm 野袖高 18.0cm	室町時代末期
⑧	木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝蔵寺	平成 3.6.21	文保 2年(1318)康俊作 樹材寄木造 像高 303.8cm	鎌倉時代
⑨	柗原八幡宮文書	八幡	柗原八幡宮	平成 3.6.21	柗原宮領関係史料(213通) 元和 7年	平安時代～ 江戸時代
⑩	帆足家伝来 田能村竹田関係資料	大分市 美術館	大分市	平成 6.6.28	紙本着面淡彩花卉図外 25点	江戸時代
⑪	柗原八幡宮	八幡	柗原八幡宮	平成 23.6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拝殿・欄干・東 回廊・西回廊・西門・南大門の 10棟	江戸～明治時代
⑫	大分県府内大友氏 遺跡出土品	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	令和 1.7.23	大友氏居館周辺の町屋や寺院跡での出土 品計 1269点。中国や朝鮮半島、東南アジ アの陶磁器、キリスト教に関わるメダル、ガ ラス製のコンダ。	戦国時代
⑬	紙本淡彩箱川舟遊図	大分県立 美術館	大分県	昭和 37.6.21	田能村竹田筆 文政 12年(1829)の作。	江戸時代
⑭	絹本着色藤原三友 隠図	大分県立 美術館	大分県	昭和 38.7.1	田能村竹田筆 天保 3年(1832)頼山陽 墨 角田九華の賛がある。屈曲する櫓の幹 の下に双鶴を配し、椿竹を添える。	江戸時代

イ 史跡

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
⑮	豊後国分寺跡	国分	大分市	昭和 8.2.28	国分僧寺 追加指定(昭和 58.9.8 昭和 61.5.28)	奈良時代
⑯	大分元町石仏	元町	大分市	昭和 9.1.22	日蓮または仁開の作と伝えられる 保存修理 昭和 46・52・53・61年以降	平安時代
⑰	高瀬石仏	高瀬	大分市	昭和 9.1.22	石甕を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
⑱	千代丸古墳	富蒭	大分市	昭和 9.5.1	築跡古墳 横穴式石室	古墳時代後期
⑲	築山古墳	本神崎	八幡神社	昭和 11.9.3	前方後円墳 箱式石室	古墳時代中期
⑳	古宮古墳	三芳	大分市	昭和 58.5.11	石箱式石室墳 九州では他に例なし	古墳時代終末期
㉑	亀塚古墳	里	大分市	平成 8.3.28	前方後円墳 全長約 116m	古墳時代中期
㉒	大友氏遺跡	顕徳	大分市	平成 13.8.13	九州 6国を支配した大友宗麟を全盛期とす る戦国大名・大友氏の拠点方 2町(200m 四 方)の大友氏館跡、旧万寿寺跡・御蔵場・上 原館からなる	戦国時代
㉓	横尾貝塚	横尾	大分市	平成 21.2.12	縄文時代の集落の移り変わりや復元できる 縄文時代からの地形と自然がよく残されて いる	縄文時代

■新旧対照表

新

(P246~247)【文化財一覧の修正】

大分市にある国指定等文化財一覧 才 登録有形文化財 カ 登録記念物

(P248)登録有形文化財2件追加 登録記念物の追加

番号	名称または物件	所在地	所有者、 または↓ 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊦	帆足家本家住宅 「富春館」寛政	中戸次	個人所有	平成18.11.29	土蔵造2階建 切妻造 檜瓦葺 1階2室2階1室 外壁漆喰めり。腰を海鼠壁。	大正5年(1916)頃。
㊧	帆足家本家住宅 「富春館」洋館	中戸次	個人所有	平成18.11.29	木造2階建 寄棟造 檜瓦葺 南側に洋室。東側に店舗を付属 モルタル壁 石造風。	大正5年(1916)。
㊨	帆足家本家住宅 「富春館」離れ	中戸次	個人所有	平成18.11.29	木造平屋建 寄棟造 檜瓦葺 南側に廊下。北側中央に8畳座敷 書院風のつくり。	昭和12年(1937)。
㊩	帆足家本家住宅 「富春館」表門	中戸次	個人所有	平成18.11.29	寛政と洋館の間に建つ。2間幅の棟門 木造。	江戸時代末期
㊪	帆足家本家住宅 「富春館」中門	中戸次	個人所有	平成18.11.29	主屋式台玄関の西側 間口1間 木造腕木門。切妻造 檜瓦葺 両脇に袖壁。	江戸時代末期
㊫	帆足家本家住宅 「富春館」堀	中戸次	個人所有	平成18.11.29	主屋南側の庭の南側と西側を囲い 寛政北西。隅から宝蔵南まで延びる 南東隅に腕木門。	大正時代。
㊬	浄土寺本堂	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造平屋建 入母屋造 本瓦葺。大規模な7間堂。	嘉永2年(1849)。
㊭	浄土寺庫裏	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造2階建 寄棟造妻入檜瓦葺。床つきの座敷・奥座敷。	江戸時代後期。
㊮	浄土寺玄関及び遺廊下	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造平屋建 本堂と庫裏を繋ぐ 入母屋屋根の玄関。	江戸時代末期
㊯	浄土寺大弁財天石宮	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	石造 庫裏の西北 庭園内に建つ 一間社流造。	明治44年(1911)。
㊰	浄土寺一伯公廟	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造平屋建 入母屋造妻入檜瓦葺 松平忠直の墓礎を安置する。	江戸時代後期 大正14年・昭和49年修築
㊱	浄土寺表門	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造 左右袖拂付。本堂正面に建つ四脚門。	明治時代後期 昭和26年改修 昭和49年修築
㊲	浄土寺北門	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造 瓦葺 柱上に血斗を置き、その上に台輪をまわす。	大正14年(1925)。
㊳	植木家住宅主屋	王子中町	個人所有	平成22.5.20	木造2階建入母屋造 1階に出格子彫刻入持送り 市内中心部に残る数少ない商家。	安政元年(1854)頃。
㊴	植木家住宅離れ	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	入母屋造檜瓦葺 床・違棚・書院を構え意匠に凝る。	昭和4年(1929)。
㊵	植木家住宅離れ 控えの間	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	庇の意匠が敬寄屋風 渡り廊下が付随する。	昭和4年(1929)。
㊶	旧豊予要室司令官官舎	佐賀関	個人所有	平成30.11.2	大正15年(1926)に竣工した豊予要室の司令官官舎 大正14年(1925)から大正15年(1926)頃の建築で、洋風の暖炉のある応接間がある。	大正14年(1925)～15年(1926)頃。
㊷	関崎灯台	佐賀関	海上保安庁	令和4.6.29	佐賀関半島東端に建つ灯台。円筒形の灯塔に平面扇形平屋建での付属舎が付く 鉄骨階建て、高さ11m。	明治34年(1901)。
㊸	旧大分県立大分図書館(アトララフ)	荷揚町	大分市	令和4.10.31	建築課磯崎新の初期代表作 鉄筋コンクリート造三階建て、地面一階の図書館建築。	昭和41年(1966)。

カ 登録記念物

番号	名称または物件	所在地	所有者、 または↓ 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊹	黒ヶ浜及びビシャゴ岩	佐賀関	国	令和5.3.20	蛇紋岩の黒石に覆われた海岸で、江戸時代から地誌等に紹介されるなど、古くから景勝地として知られている。	

旧

(P246~247)【文化財一覧の修正】

大分市にある国指定等文化財一覧 才 登録有形文化財 カ 登録記念物

(P248)

番号	名称または物件	所在地	所有者、 または↓ 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊦	帆足家本家住宅 「富春館」寛政	中戸次	個人所有	平成18.11.29	土蔵造2階建 切妻造 檜瓦葺 1階2室2階1室 外壁漆喰めり。腰を海鼠壁。	大正5年(1916)頃。
㊧	帆足家本家住宅 「富春館」洋館	中戸次	個人所有	平成18.11.29	木造2階建 寄棟造 檜瓦葺 南側に洋室。東側に店舗を付属 モルタル壁 石造風。	大正5年(1916)。
㊨	帆足家本家住宅 「富春館」離れ	中戸次	個人所有	平成18.11.29	木造平屋建 寄棟造 檜瓦葺 南側に廊下。北側中央に8畳座敷 書院風のつくり。	昭和12年(1937)。
㊩	帆足家本家住宅 「富春館」表門	中戸次	個人所有	平成18.11.29	寛政と洋館の間に建つ。2間幅の棟門 木造。	江戸時代末期
㊪	帆足家本家住宅 「富春館」中門	中戸次	個人所有	平成18.11.29	主屋式台玄関の西側 間口1間 木造腕木門。切妻造 檜瓦葺 両脇に袖壁。	江戸時代末期
㊫	帆足家本家住宅 「富春館」堀	中戸次	個人所有	平成18.11.29	主屋南側の庭の南側と西側を囲い 寛政北西。隅から宝蔵南まで延びる 南東隅に腕木門。	大正時代。
㊬	浄土寺本堂	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造平屋建 入母屋造 本瓦葺。大規模な7間堂。	嘉永2年(1849)。
㊭	浄土寺庫裏	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造2階建 寄棟造妻入檜瓦葺。床つきの座敷・奥座敷。	江戸時代後期。
㊮	浄土寺玄関及び遺廊下	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造平屋建 本堂と庫裏を繋ぐ 入母屋屋根の玄関。	江戸時代末期
㊯	浄土寺大弁財天石宮	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	石造 庫裏の西北 庭園内に建つ 一間社流造。	明治44年(1911)。
㊰	浄土寺一伯公廟	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造平屋建 入母屋造妻入檜瓦葺 松平忠直の墓礎を安置する。	江戸時代後期 大正14年・昭和49年修築
㊱	浄土寺表門	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造 左右袖拂付。本堂正面に建つ四脚門。	明治時代後期 昭和26年改修 昭和49年修築
㊲	浄土寺北門	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	木造 瓦葺 柱上に血斗を置き、その上に台輪をまわす。	大正14年(1925)。
㊳	植木家住宅主屋	王子中町	個人所有	平成22.5.20	木造2階建入母屋造 1階に出格子彫刻入持送り 市内中心部に残る数少ない商家。	安政元年(1854)頃。
㊴	植木家住宅離れ	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	入母屋造檜瓦葺 床・違棚・書院を構え意匠に凝る。	昭和4年(1929)。
㊵	植木家住宅離れ 控えの間	王子西町	浄土寺	平成20.10.23	庇の意匠が敬寄屋風 渡り廊下が付随する。	昭和4年(1929)。
㊶	旧豊予要室司令官官舎	佐賀関	個人所有	平成30.11.2	大正15年(1926)に竣工した豊予要室の司令官官舎 大正14年(1925)から大正15年(1926)頃の建築で、洋風の暖炉のある応接間がある。	大正14年(1925)～15年(1926)頃。



■新旧対照表

新

(P250～252)【文化財一覧の修正】

(重要文化財2件削除・1件訂正、史跡1件訂正、天然記念物1件訂正)

大分市にある県指定等文化財一覧 ア 重要文化財

(P250)重要文化財2件削除

大分市にある県指定文化財一覧

ア 重要文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
①	栴原八幡宮文書 附絵図	八幡	栴原八幡宮	昭和35.3.22	絵図のみ	江戸時代
②	八幡宇佐宮 御託宣集附裏書	八幡	栴原八幡宮	昭和35.3.22	宇佐神宮に関する記録16巻と裏書2からなる 文明2年(1470)	室町時代
③	純寧文書	大分市 歴史資料館	個人所有	昭和35.3.22	合計11巻 286点の文書 高応元年(1189)～慶長16年(1611)	平安時代末期～ 江戸時代初期
④	都甲文書	大分県立 先哲史料館	個人所有	昭和35.3.22	合計4巻 90通	平安～江戸時代
⑤	須恵器	大分県立 埋蔵文化財 センター	国東市	昭41.3.22	国東市安岐町の篠山古墳から出土した須恵器の壺ならびに器台である。総高48.5cm。	※削除
⑤	刀	森	個人所有	昭和43.3.29	豊州高田庄 藤原行長 慶長5年(1600)	戦国時代
⑥	刀	田尻	個人所有	昭和40.3.9	銘 貞行 応永時代	室町時代前半
⑦	刀	高松東	個人所有	昭和43.3.29	銘 平鏡敷 長さ 81.6cm 永祿年間	※削除
⑦	木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭和44.3.22	樟材 寄木造 像高 86.3cm	平安時代後期
⑧	木造不動明王立像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 寄木造 像高 78.8cm	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
⑨	木造女神形坐像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 一木造 像高 39.5cm	平安時代後期
⑩	木造菩薩形坐像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 一木造 像高 46.6cm	〃
⑪	木造祖師形坐像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 一木造 像高 54.8cm	平安時代末期
⑫	板彫多聞天立像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 一木造 像高 78.4cm	鎌倉時代
⑬	板彫不動明王立像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 一木造 像高 76.9cm	〃
⑭	紙本着色由原八幡宮 縁起絵巻附巻二通	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	絵 土佐光茂 副 青蓮院宮尊徳法親王	室町時代
⑮	紺紙金泥増巻阿含巻	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	11紙 縦34cm 横64.2cm 文和4年(1365)に尼法忍により納入	平安時代末期
⑯	山水繪縁起絵巻 納巻	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	銘 元和八年(1622)中川秀征(阿彌2代藩主)寄進	江戸時代初期
⑰	紙本着色願図 六曲屏風一雙	上野丘	円寿寺	昭和46.3.23	土佐源の面風春巻と秋巻(各)150.0×52.5cm	江戸時代中期
⑱	絹本着色栴本人磨図	上野丘	円寿寺	昭和46.3.23	土佐信実筆の墨書あり 縦34.5cm 横37.5cm	鎌倉時代後期
⑲	紙本着色風俗画	大分県立 美術館	宗玄寺	昭和53.3.31	大分県杵築市宗玄寺所有 大分県立美術館 寄託	
⑳	安藤家刀	横尾	個人所有	昭和54.5.15	銘 豊州高田住大和太極藤原貞行 平成16.6.21所有者変更による	
㉑	中間石楯	志津留	共有	昭和55.4.8	遺立者の墨書銘あり 応永6年(1399)遺立	室町時代
㉒	万年櫓	寒田	西寒多神社	昭和55.4.8	文久2年(1862)建造(西寒多神社境内)	江戸時代
㉓	金剛宝戒寺 木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭和57.3.30	樟材 寄木造 像高161.6cm	鎌倉時代
㉔	豊後国諸檢地帳	大分県立 先哲史料館	大分県	昭和57.3.30	文禄2年(1593)7冊 他全82冊 平成9年大分県立先哲史料館	安土桃山～ 江戸時代初期
㉕	太刀	坂ノ市	個人所有	昭和63.3.15	銘 豊州之住人直宗作 応永十八年(1411) 〇月十五日	室町時代
㉖	木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平成9.3.25	樟材 寄木造 像高68cm	鎌倉時代後期～ 南北朝時代
㉗	刀	大道町	個人所有	平成10.3.20	豊後国高田住藤原真行作	江戸時代

旧

(P250～252)【文化財一覧の修正】

大分市にある県指定等文化財一覧 ア 重要文化財

大分市にある県指定文化財一覧

ア 重要文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
①	栴原八幡宮文書 附絵図	八幡	栴原八幡宮	昭和35.3.22	絵図のみ	江戸時代
②	八幡宇佐宮 御託宣集附裏書	八幡	栴原八幡宮	昭和35.3.22	宇佐神宮に関する記録16巻と裏書2からなる 文明2年(1470)	室町時代
③	純寧文書	大分市 歴史資料館	個人所有	昭和35.3.22	合計11巻 286点の文書 高応元年(1189)～慶長16年(1611)	平安時代末期～ 江戸時代初期
④	都甲文書	大分県立 先哲史料館	個人所有	昭和35.3.22	合計4巻 90通	平安～江戸時代
⑤	須恵器	大分県立 埋蔵文化財 センター	国東市	昭41.3.22	国東市安岐町の篠山古墳から出土した須恵器の壺ならびに器台である。総高48.5cm。	古墳時代
⑥	刀	森	個人所有	昭和43.3.29	豊州高田庄 藤原行長 慶長5年(1600)	戦国時代
⑦	刀	田尻	個人所有	昭和40.3.9	銘 貞行 応永時代	室町時代前半
⑧	刀	高松東	個人所有	昭和43.3.29	銘 平鏡敷 長さ 81.6cm 永祿年間	戦国時代
⑨	木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭和44.3.22	樟材 寄木造 像高 86.3cm	平安時代後期
⑩	木造不動明王立像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 寄木造 像高 78.8cm	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
⑪	木造女神形坐像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 一木造 像高 39.5cm	平安時代後期
⑫	木造菩薩形坐像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 一木造 像高 46.6cm	〃
⑬	木造祖師形坐像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 一木造 像高 54.8cm	平安時代末期
⑭	板彫多聞天立像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 一木造 像高 78.4cm	鎌倉時代
⑮	板彫不動明王立像	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	樟材 一木造 像高 76.9cm	〃
⑯	紙本着色由原八幡宮 縁起絵巻附巻二通	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	絵 土佐光茂 副 青蓮院宮尊徳法親王	室町時代
⑰	紺紙金泥増巻阿含巻	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	11紙 縦34cm 横64.2cm 文和4年(1365)に尼法忍により納入	平安時代末期
⑱	山水繪縁起絵巻 納巻	八幡	栴原八幡宮	昭和45.3.31	銘 元和八年(1622)中川秀征(阿彌2代藩主)寄進	江戸時代初期
⑲	紙本着色願図 六曲屏風一雙	上野丘	円寿寺	昭和46.3.23	土佐源の面風春巻と秋巻(各)150.0×52.5cm	江戸時代中期
㉑	絹本着色栴本人磨図	上野丘	円寿寺	昭和46.3.23	土佐信実筆の墨書あり 縦34.5cm 横37.5cm	鎌倉時代後期
㉒	紙本着色風俗画	大分県立 美術館	宗玄寺	昭和53.3.31	大分県杵築市宗玄寺所有 大分県立美術館 寄託	
㉓	安藤家刀	横尾	個人所有	昭和54.5.15	銘 豊州高田住大和太極藤原貞行 平成16.6.21所有者変更による	
㉔	中間石楯	志津留	共有	昭和55.4.8	遺立者の墨書銘あり 応永6年(1399)遺立	室町時代
㉕	万年櫓	寒田	西寒多神社	昭和55.4.8	文久2年(1862)建造(西寒多神社境内)	江戸時代
㉖	金剛宝戒寺 木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭和57.3.30	樟材 寄木造 像高161.6cm	鎌倉時代
㉗	豊後国諸檢地帳	大分県立 先哲史料館	大分県	昭和57.3.30	文禄2年(1593)7冊 他全82冊 平成9年大分県立先哲史料館	安土桃山～ 江戸時代初期
㉘	太刀	坂ノ市	個人所有	昭和63.3.15	銘 豊州之住人直宗作 応永十八年(1411) 〇月十五日	室町時代
㉙	木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平成9.3.25	樟材 寄木造 像高68cm	鎌倉時代後期～ 南北朝時代
㉚	刀	大道町	個人所有	平成10.3.20	豊後国高田住藤原真行作	江戸時代

■新旧対照表

新

(P250～252)【文化財一覧の修正】

大分市にある県指定等文化財一覧 ア 重要文化財  
(P251)重要文化財の訂正1件(網掛けの追加)

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㉔	脇差	大道町	個人所有	平成10.3.20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
㉕	築山古墳出土品	本神崎	築山古墳 保存会	平成10.3.20	築山古墳出土品一括	古墳時代
㉖	絹本着色阿弥陀如来 迎図	森町	専想寺	平成11.3.23	1幅	室町時代
㉗	木造阿弥陀如来立像	森町	専想寺	平成11.3.23	1軀	鎌倉時代
㉘	巴形銅器	埋蔵文化財 センター	大分県	平成11.3.23	考古資料	弥生時代
㉙	教尊寺(7棟)	本神崎	教尊寺	平成11.3.23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘 楼・山門	江戸時代
㉚	絹本着色中川家歴代 権主画像	大分県立 美術館	西光寺	平成12.3.24	大分県竹田市西光寺所有 大分県立美術 館 寄託	江戸時代
㉛	刀(平長盛)	常行	個人所有	平成13.4.3	銘 平長盛(豊後刀の作風強く残す)	室町時代
㉜	刀(平長盛)	森町	個人所有	平成13.4.3	銘文 平 長盛 平成19.7.24 所有者 変更で白袴市より	室町時代
㉝	木造聖観音菩薩坐像	八幡	大山寺	平成14.3.29	樟材 一木造 像高 273.5cm	平安時代
㉞	木造十一面 観音菩薩立像	永興	臨濟寺	平成14.3.29	桧材 寄木造 像高 170cm 平成18.5.18 所有者変更	平安時代
㉟	早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女 神社	平成16.3.30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
㊱	早吸日女神社本殿	佐賀関	早吸日女 神社	平成16.3.30	三間社流造 檜皮葺	江戸時代
㊲	早吸日女神社社家 (小野家住宅)	佐賀関	早吸日女 神社	平成16.3.30	入母屋造 檜瓦葺	江戸時代
㊳	長巻横穴墓群第7号 墓出土品	埋蔵文化財 センター	大分県	平成17.3.29	鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計28点	古墳時代後期
㊴	木造地藏菩薩立像 (愛宕地蔵)	青石	妙藏寺 保存会	平成17.3.30	像高81.5cm 材質樟 寄木造 彫眼 漆 箔が施されている	鎌倉時代
㊵	絹本着色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平成18.3.31	縦212.3cm 横214.5cm	鎌倉時代
㊶	木造聖徳太子 二歳立像	勢家町	法専寺	平成18.3.31	桧材寄木造 玉眼 像高68.2cm	鎌倉時代
㊷	銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平成19.3.30	総高16.3cm 像高15.1cm 銅鑄造製 鍍 金あり	飛鳥～白鳳時代
㊸	大志生木宝篋印塔	十谷	西岡神社	平成21.3.17	銘 應安六年(1373)「塔供養」と刻まれ ている 平成21年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
㊹	王ノ瀬石棺	大分市海部 古墳資料館	共有	平成24.3.13	冢形石棺 辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺 だった可能性が高い	古墳時代中期
㊺	先哲史料箱 箱裏家文書	大分県立 先哲史料館	大分県	平成26.2.14	白袴藩主箱裏家に伝えられた文書	江戸時代
㊻	猪野遺跡出土銅矛	大分市 歴史資料館	大分市	平成28.2.23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作さ れたと思われる中広形銅矛	弥生時代中期～ 後期
㊼	木造釈迦如来坐像	松岡	長興寺	平成28.2.23	鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶永 仏師の作と考えられる	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
㊽	佐知遺跡17 遺構出土 品	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平成28.2.23	中津市三光佐知遺跡から出土した遺物。 男性を埋葬した墓で、太刀、鉄製矢じり等 46点。	鎌倉時代
㊾	龍頭遺跡出土編袋	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平成28.2.23	杵築市山香町野原 龍頭遺跡より出土。 ツル植物で編まれた袋。当時の技法がわか る。	縄文時代後期
㊿	高野山本覚院文書	大分県立 先哲史料館	大分県	平成29.3.7	大友氏およびその家臣、近世大名にかか る書翰等1946点の文書が残されている	中世～近代
①	一方平1遺跡出土 石器群	埋蔵文化財 センター	大分県	平成29.3.7	大分市横尾字一方平から出土した石器群 石器製作技術の全工程が復元できる資料	旧石器時代後期
②	東田窟遺跡出土 絵画土器	埋蔵文化財 センター	大分県	平成29.3.7	大分市田窪町古墳時代の堅穴住居跡から 出土 縄文のひれ部分が描かれた絵画文様	古墳時代 中期前半

旧

(P250～252)【文化財一覧の修正】

大分市にある県指定等文化財一覧 ア 重要文化財

(P251)

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㉔	脇差	大道町	個人所有	平成10.3.20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
㉕	築山古墳出土品	本神崎	築山古墳 保存会	平成10.3.20	築山古墳出土品一括	古墳時代
㉖	絹本着色阿弥陀如来 迎図	森町	専想寺	平成11.3.23	1幅	室町時代
㉗	木造阿弥陀如来立像	森町	専想寺	平成11.3.23	1軀	鎌倉時代
㉘	巴形銅器	埋蔵文化財 センター	大分県	平成11.3.23	考古資料	弥生時代
㉙	教尊寺(7棟)	本神崎	教尊寺	平成11.3.23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘 楼・山門	江戸時代
㉚	絹本着色中川家歴代 権主画像	大分県立 美術館	西光寺	平成12.3.24	大分県竹田市西光寺所有 大分県立美術 館 寄託	江戸時代
㉛	刀(平長盛)	常行	個人所有	平成13.4.3	銘 平長盛(豊後刀の作風強く残す)	室町時代
㉜	刀(平長盛)	森町	個人所有	平成13.4.3	銘文 平 長盛 平成19.7.24 所有者 変更で白袴市より	室町時代
㉝	木造聖観音菩薩坐像	八幡	大山寺	平成14.3.29	樟材 一木造 像高 273.5cm	平安時代
㉞	木造十一面 観音菩薩立像	永興	臨濟寺	平成14.3.29	桧材 寄木造 像高 170cm 平成18.5.18 所有者変更	平安時代
㉟	早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女 神社	平成16.3.30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
㊱	早吸日女神社本殿	佐賀関	早吸日女 神社	平成16.3.30	三間社流造 檜皮葺	江戸時代
㊲	早吸日女神社社家 (小野家住宅)	佐賀関	早吸日女 神社	平成16.3.30	入母屋造 檜瓦葺	江戸時代
㊳	長巻横穴墓群第7号 墓出土品	埋蔵文化財 センター	大分県	平成17.3.29	鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計28点	古墳時代後期
㊴	木造地藏菩薩立像 (愛宕地蔵)	青石	妙藏寺 保存会	平成17.3.30	像高81.5cm 材質樟 寄木造 彫眼 漆 箔が施されている	鎌倉時代
㊵	絹本着色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平成18.3.31	縦212.3cm 横214.5cm	鎌倉時代
㊶	木造聖徳太子 二歳立像	勢家町	法専寺	平成18.3.31	桧材寄木造 玉眼 像高68.2cm	鎌倉時代
㊷	銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平成19.3.30	総高16.3cm 像高15.1cm 銅鑄造製 鍍 金あり	飛鳥～白鳳時代
㊸	大志生木宝篋印塔	十谷	西岡神社	平成21.3.17	銘 應安六年(1373)「塔供養」と刻まれ ている 平成21年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
㊹	王ノ瀬石棺	大分市海部 古墳資料館	共有	平成24.3.13	冢形石棺 辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺 だった可能性が高い	古墳時代中期
㊺	先哲史料箱 箱裏家文書	大分県立 先哲史料館	大分県	平成26.2.14	白袴藩主箱裏家に伝えられた文書	江戸時代
㊻	猪野遺跡出土銅矛	大分市 歴史資料館	大分市	平成28.2.23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作さ れたと思われる中広形銅矛	弥生時代中期～ 後期
㊼	木造釈迦如来坐像	松岡	長興寺	平成28.2.23	鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶永 仏師の作と考えられる	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
㊽	佐知遺跡17 遺構出土 品	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平成28.2.23	中津市三光佐知遺跡から出土した遺物。 男性を埋葬した墓で、太刀、鉄製矢じり等 46点。	鎌倉時代
㊾	龍頭遺跡出土編袋	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平成28.2.23	杵築市山香町野原 龍頭遺跡より出土。 ツル植物で編まれた袋。当時の技法がわか る。	縄文時代後期
㊿	高野山本覚院文書	大分県立 先哲史料館	大分県	平成29.3.7	大友氏およびその家臣、近世大名にかか る書翰等1946点の文書が残されている	中世～近代
①	一方平1遺跡出土 石器群	埋蔵文化財 センター	大分県	平成29.3.7	大分市横尾字一方平から出土した石器群 石器製作技術の全工程が復元できる資料	旧石器時代後期
②	東田窟遺跡出土 絵画土器	埋蔵文化財 センター	大分県	平成29.3.7	大分市田窪町古墳時代の堅穴住居跡から 出土 縄文のひれ部分が描かれた絵画文様	古墳時代 中期前半



■新旧対照表

新

(P254・P256～257(258))【文化財一覧の修正】

(有形文化財1件追加・3件訂正、史跡1件追加、無形民俗文化財1件訂正登録文化財追加)

大分市にある市指定等文化財一覧 ア 有形文化財

(P254) 有形文化財の名称の1件訂正  
有形文化財の所在地2件訂正  
有形文化財の所有者または管理団体名1件訂正

大分市にある市指定文化財一覧

ア 有形文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
①	熊野権現縁起絵巻	大分市歴史資料館 津宇	熊野神社	昭和49.1.9	松平忠直の遺品 全13巻(熊野神社)	江戸時代
②	神庫	寒田	西塞多神社	昭和49.1.9	校倉造 応永15年(1408) 明治19年改修(西塞多神社境内)	室町時代
③	鳥居	王子北町	王子神社	昭和49.1.9	寛政8年(1796)2月建立(王子神社境内)	江戸時代
④	刀(大・小)	府内町	個人所有	昭和49.1.9	毛利空糸所持刀 刀 長さ 89.5cm 脇差 長さ 59.0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代
⑤	刀	大分市歴史資料館	大分市	昭和49.1.9	銘表 豊府家士神狐丸盛利行年七十才作 裏 天保9年(1838) 戊戌2月■日 佐望角安安銀	江戸時代
⑥	円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円寿寺	昭和51.8.24	開基道真置文以下15件内 大友関係資料 1巻12通	鎌倉～室町時代
⑦	大般若經本附納函	大分県立先哲史料館	円寿寺	昭和51.8.24	寛正4年(1463)寄進	室町時代
⑧	御城下絵図	大分市歴史資料館	大分市	昭和56.8.1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
⑨	十一面観音立像	園分	園分寺	昭和56.8.1	桜材 寄木造 像高 106.2cm 藤原仏の特徴	平安時代後期
⑩	万寿寺石造国東塔	金池町	万寿寺	昭和56.8.1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
⑪	波奈之丸屏風(鷲島神社図)	大分市歴史資料館	個人所有	平成2.7.16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
⑫	熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	郷八幡社	平成3.3.27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [寛政10年(1798)]	江戸時代
⑬	岡藩船三佐入港船絵馬	三佐	野坂神社	平成3.3.27	岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [文化10年(1813)]	江戸時代
⑭	府内藩校遊覧館絵図	大分市歴史資料館	弥栄神社	平成6.2.28	遊覧館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
⑮	帆足本家酒造蔵	中戸次	大分市	平成11.3.23	酒造過程のわかる木造建築物	明治～大正時代
⑯	刀	森町	個人所有	平成16.3.31	銘表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年(1655) 九月吉日	江戸時代初期
⑰	刀	永興	個人所有	平成16.3.31	銘表 長谷部國重 相伝の名門の一派「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期
⑱	木造宝冠釈迦如来坐像	太田	個人所有	平成17.3.31	桜材 寄木造 像高 68.5cm	南北朝時代
⑲	木造毘沙門天立像	恵良	西福寺	平成17.3.31	桜材 寄木造 像高 65cm	江戸時代前半
⑳	木造薬師三尊立像	本町	福城寺	平成17.3.31	桜材 一木彫成	室町時代前半
㉑	銅造観音菩薩立像	今市	安楽寺	平成17.3.31	銅製の像 像高 26.2cm 懸仏	鎌倉時代後半
㉒	丸山八幡神社楼門	今市	丸山八幡神社	平成17.3.31	享保5年(1720)入母屋造 3回修理	江戸時代
㉓	木造地藏菩薩立像(愛宕地蔵)	本神崎	八幡神社	平成17.3.31	像高 96.8cm、台高 36.5cm 材置樟 寄木造	江戸時代初期
㉔	大平文書	大平	個人所有	平成17.3.31	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二分される 大友氏の水量として活躍した若林家の文書 国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書	江戸～明治時代
㉕	若林文書・系図	大分県立先哲史料館 →見島	個人所有	平成17.3.31		戦国時代

旧

(P254・P256～257(258))【文化財一覧の修正】

大分市にある市指定等文化財一覧 ア 有形文化財

(P254)

大分市にある市指定文化財一覧

ア 有形文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
①	熊野権現縁起絵巻	津宇	熊野神社	昭和49.1.9	松平忠直の遺品 全13巻(熊野神社)	江戸時代
②	神庫	寒田	西塞多神社	昭和49.1.9	校倉造 応永15年(1408) 明治19年改修(西塞多神社境内)	室町時代
③	鳥居	王子町	王子神社	昭和49.1.9	寛政8年(1796)2月建立(王子神社境内)	江戸時代
④	刀(大・小)	府内町	個人所有	昭和49.1.9	毛利空糸所持刀 刀 長さ 89.5cm 脇差 長さ 59.0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代
⑤	刀	大分市歴史資料館	大分市	昭和49.1.9	銘表 豊府家士神狐丸盛利行年七十才作 裏 天保9年(1838) 戊戌2月■日 佐望角安安銀	江戸時代
⑥	円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円寿寺	昭和51.8.24	開基道真置文以下15件内 大友関係資料 1巻12通	鎌倉～室町時代
⑦	大般若經本附納函	大分県立先哲史料館	円寿寺	昭和51.8.24	寛正4年(1463)寄進	室町時代
⑧	御城下絵図	大分市歴史資料館	大分市	昭和56.8.1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
⑨	十一面観音立像	園分	園分寺	昭和56.8.1	桜材 寄木造 像高 106.2cm 藤原仏の特徴	平安時代後期
⑩	万寿寺石造国東塔	金池町	万寿寺	昭和56.8.1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
⑪	波奈之丸屏風(鷲島神社図)	大分市歴史資料館	個人所有	平成2.7.16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
⑫	熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	郷八幡社	平成3.3.27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [寛政10年(1798)]	江戸時代
⑬	岡藩船三佐入港船絵馬	三佐	野坂神社	平成3.3.27	岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [文化10年(1813)]	江戸時代
⑭	府内藩校遊覧館絵図	大分市歴史資料館	弥栄神社	平成6.2.28	遊覧館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
⑮	帆足本家酒造蔵	中戸次	大分市	平成11.3.23	酒造過程のわかる木造建築物	明治～大正時代
⑯	刀	森町	個人所有	平成16.3.31	銘表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年(1655) 九月吉日	江戸時代初期
⑰	刀	永興	個人所有	平成16.3.31	銘表 長谷部國重 相伝の名門の一派「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期
⑱	木造宝冠釈迦如来坐像	太田	個人所有	平成17.3.31	桜材 寄木造 像高 68.5cm	南北朝時代
⑲	木造毘沙門天立像	恵良	西福寺	平成17.3.31	桜材 寄木造 像高 65cm	江戸時代前半
⑳	木造薬師三尊立像	本町	福城寺	平成17.3.31	桜材 一木彫成	室町時代前半
㉑	銅造観音菩薩立像	今市	安楽寺	平成17.3.31	銅製の像 像高 26.2cm 懸仏	鎌倉時代後半
㉒	丸山八幡神社楼門	今市	丸山八幡神社	平成17.3.31	享保5年(1720)入母屋造 3回修理	江戸時代
㉓	木造地藏菩薩立像(愛宕地蔵)	本神崎	八幡神社	平成17.3.31	像高 96.8cm、台高 36.5cm 材置樟 寄木造	江戸時代初期
㉔	大平文書	大平	個人所有	平成17.3.31	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二分される 大友氏の水量として活躍した若林家の文書 国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書	江戸～明治時代
㉕	若林文書・系図	一尺屋	個人所有	平成17.3.31		戦国時代

■新旧対照表

新

(P254・P256～257(258))【文化財一覧の修正】

大分市にある市指定等文化財一覧 ア 有形文化財 イ 史跡

(P256) 有形文化財1件追加  
史跡1件追加

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㊦	木造釈迦如来坐像	永興	龍濟寺	平成 27. 7. 3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
㊧	松栄神社所蔵絵図	大分市 歴史資料館	松栄神社	平成 27.12.25	府内城の構および府内藩の施設の姿を表した絵図および指図	江戸時代後期
㊨	合澤家所蔵文書	中島	個人A所有	平成 27.12.25	戦国時代に佐賀藩一尺畳を拠点として活躍した若林水運に属する文書	江戸時代後期
㊩	立小野区有文書	大分市 歴史資料館	立小野区	平成 29. 3. 9	江戸時代前期藩政であった立小野村に残され伝えられた文書。隣接する村々との境界紛争を中心とし「赤蓮判状」が残されている	江戸～昭和時代
㊪	木造五劫思惟阿彌陀如来坐像	片島	片島下区	平成 29. 3. 9	絵村 喜木造 単純な衣文 ふくよかな威厳。15世紀の作と考えられ、全国的に造像例が少ない	室町時代
㊫	大分市出土同范銅戈	大分市 歴史資料館	大分市 住吉神社	平成 30. 12. 7	細形銅戈 「伝岩屋遺跡出土銅戈」と大佐の「住吉神社所蔵銅戈」と同じ鑄型より製作された同范銅戈である	弥生時代中期
㊬	紙本着色徳生範公像	田窪町	長福寺	令和 1. 12. 6	産主が豊後国眞祭宗の重要寺院であった長福寺の開基であることから、歴史的に貴重	江戸時代
㊭	少林寺板碑	木上	少林寺	令和 1. 12. 6	銘文より貞和6年(1350)という建立年代、建立の経緯が明らかであり、歴史的に貴重	南北朝時代
㊮	合澤家旧蔵中世文書	大分市 歴史資料館	大分市	令和 5. 3. 7	戦国時代に佐賀藩一尺畳を拠点として活躍した若林家に伝来した中世文書。船を使った各地での進駐などの活動実態を記録したもの。計36点。	室町時代

イ 史跡

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㊯	大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭和 49. 1. 9	五輪塔 高さ176cm 大友氏3代 延享元年(1744)以降 平成19.6.4所有者修正	江戸時代
㊰	丹生遺跡	丹生	大分市	昭和 49. 1. 9	昭和37年～42年にかけて、6回にわたって調査	旧石器時代
㊱	滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	昭和 49. 1. 9	横穴古墳群	古墳時代後期
㊲	伽藍石仏	永興	個人所有	昭和 49. 1. 9	仏像の配列に特徴あり	鎌倉～室町時代
㊳	府内城跡	荷揚町	大分市	平成 7. 2. 17	県指定部分を除く城地	江戸時代
㊴	佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平成 17. 3. 31	材質すべて角閃石安山岩 売形41基	戦国～江戸時代初期
㊵	鶴迫崖仏	太田	地福寺	平成 17. 3. 31	地蔵尊「火防(ひぶせ)の地蔵さま」と呼ばれる	安土桃山時代末期～江戸時代初期
㊶	鶴迫崖遺跡	太田	個人所有	平成 17. 3. 31	15基の板碑型の碑 永禄2年(1569)の銘	室町時代末期
㊷	中ノ原古墳	本神崎	個人所有	令和 3. 12. 30	円墳 横穴式石室	古墳時代後期

ウ 無形民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㊸	祐原太鼓	八幡	祐原太鼓保存会	昭和 54. 6. 14	祐原八幡宮の放生会「狐の市」に起源をもつ	
㊹	深山流 伊与床神楽	熾登	深山流伊与床五柱神社 神楽社	平成 12. 6. 11	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている	

旧

(P254・P256～257(258))【文化財一覧の修正】

大分市にある市指定等文化財一覧 ア 有形文化財 イ 史跡

(P256)

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㊺	木造釈迦如来坐像	永興	龍濟寺	平成 27. 7. 3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
㊻	松栄神社所蔵絵図	大分市 歴史資料館	松栄神社	平成 27.12.25	府内城の構および府内藩の施設の姿を表した絵図および指図	江戸時代後期
㊼	合澤家所蔵文書	中島	個人A所有	平成 27.12.25	戦国時代に佐賀藩一尺畳を拠点として活躍した若林水運に属する文書	江戸時代後期
㊽	立小野区有文書	大分市 歴史資料館	立小野区	平成 29. 3. 9	江戸時代前期藩政であった立小野村に残され伝えられた文書。隣接する村々との境界紛争を中心とし「赤蓮判状」が残されている	江戸～昭和時代
㊾	木造五劫思惟阿彌陀如来坐像	片島	片島下区	平成 29. 3. 9	絵村 喜木造 単純な衣文 ふくよかな威厳。15世紀の作と考えられ、全国的に造像例が少ない	室町時代
㊿	大分市出土同范銅戈	大分市 歴史資料館	大分市 住吉神社	平成 30. 12. 7	細形銅戈 「伝岩屋遺跡出土銅戈」と大佐の「住吉神社所蔵銅戈」と同じ鑄型より製作された同范銅戈である	弥生時代中期
㊽	紙本着色徳生範公像	田窪町	長福寺	令和 1. 12. 6	産主が豊後国眞祭宗の重要寺院であった長福寺の開基であることから、歴史的に貴重	江戸時代
㊿	少林寺板碑	木上	少林寺	令和 1. 12. 6	銘文より貞和6年(1350)という建立年代、建立の経緯が明らかであり、歴史的に貴重	南北朝時代

イ 史跡

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㊿	大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭和 49. 1. 9	五輪塔 高さ176cm 大友氏3代 延享元年(1744)以降 平成19.6.4所有者修正	江戸時代
㊽	丹生遺跡	丹生	大分市	昭和 49. 1. 9	昭和37年～42年にかけて、6回にわたって調査	旧石器時代
㊾	滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	昭和 49. 1. 9	横穴古墳群	古墳時代後期
㊿	伽藍石仏	永興	個人所有	昭和 49. 1. 9	仏像の配列に特徴あり	鎌倉～室町時代
㊽	府内城跡	荷揚町	大分市	平成 7. 2. 17	県指定部分を除く城地	江戸時代
㊿	佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平成 17. 3. 31	材質すべて角閃石安山岩 売形41基	戦国～江戸時代初期
㊽	鶴迫崖仏	太田	地福寺	平成 17. 3. 31	地蔵尊「火防(ひぶせ)の地蔵さま」と呼ばれる	安土桃山時代末期～江戸時代初期
㊿	鶴迫崖遺跡	太田	個人所有	平成 17. 3. 31	15基の板碑型の碑 永禄2年(1569)の銘	室町時代末期

ウ 無形民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
㊽	祐原太鼓	八幡	祐原太鼓保存会	昭和 54. 6. 14	祐原八幡宮の放生会「狐の市」に起源をもつ	
㊾	深山流 伊与床神楽	熾登	深山流伊与床五柱神社 神楽社	平成 12. 6. 11	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている	
㊿	岡倉神楽	下原	岡倉神楽社	平成 18. 3. 7	勇壮な神楽であり、活劇に活動舞台、伝説も鮮やかに行われている	明治時代～
㊽	二目川の百手まつり	横尾字二目川	百手まつり保存会	平成 25. 1. 11	毎年1月20日に開催 舟の上で的に矢を放つ儀式「的矢の儀」を継承している	
㊿	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭和 56. 3. 31	江戸時代中期以降に発達 左衛門、徳丸大夫がある	国選択無形民俗文化財 県選択無形民俗文化財
㊽	戸次のほうちょう作り	中戸次	戸次籠師保存会	平成 30. 12. 7	大分地方を代表する郷土料理「ほうちょう」の作り方を継承	

■新旧対照表

新						
(P254・P256～257(258))【文化財一覧の修正】						
大分市にある市指定等文化財一覧 ウ 無形民俗文化財						
(P256) 無形民俗文化財の名称と所有者または管理団体者名1件訂正						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
15	岡倉神楽	下原	岡倉神社	平成 18. 3. 7	勇壮な神楽であり、活路に活動 また、伝承も計画的に行われている	明治時代～
16	二目川の百手祭り	横尾字二目川	二目川百手祭り保存会	平成 25. 1. 11	毎年1月20日に開催 豊の上での矢を放つ儀式「矢的の儀」 を継承している	
17	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭和 56. 3. 31	江戸時代中期以降に発達 左衛門、猿丸 太夫がある	国選択無形民俗文化財 県選択無形民俗文化財
18	戸次のほうちよう作り	中戸次	戸次鮎腸保存会	平成 30. 12. 7	大分地方を代表する郷土料理「ほうちよう」 の作り方を継承	
エ 無形文化財						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
19	廻栖野の竹細工技術	廻栖野	保持者2名	平成 23. 12. 19	長いヒゴを使用した青物系の竹細工技術 大分県在来の古い技術	
オ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
20	羽田神楽	羽田	大分社	平成 17. 9. 27	昭和45年創立と新しいが、庄内神楽の 流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる (選択)	昭和45年 (1970)～
カ 有形民俗文化財						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
21	鱈網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平成 17. 9. 27	明治45年に奉納された漁網絵馬で当時の 鱈網漁の様子が詳細に描かれている	明治時代
22	漁業図大絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平成 17. 9. 27	明治35年に奉納された漁網絵馬で珊瑚 樹採取の船団を描写している	明治時代
23	帆足本家酒造用具一式	中戸次	大分市	平成 17. 9. 27	多くの酒造用具が残され、それらは伝統 的な民具で構成されている(342点) 平成 19. 2. 8 大分市へ寄付	江戸時代末期 ～ 昭和47年 (1972)
キ 天然記念物						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
24	オオイタサンショウウオおよび生息地	岡川	蓋山寺	昭和 49. 1. 9	希少種とされている (蓋山寺境内)	
25	ヤマフジ	寒田	西寒多神社	昭和 49. 1. 9	抜張り 東西約 24m 南北約 5m の範囲 で広がる (西寒多神社境内)	
26	クスノキ	下戸次	八幡神社	昭和 49. 1. 9	高さ約 20m 樹冠の広がりが東西約 33m 南 北 45m (八幡社境内)	
27	栴原八幡宮の森	八幡	栴原八幡宮	平成 2. 9. 12	自然林の残存林 栴原八幡宮境内林	

旧						
(P254・P256～257(258))【文化財一覧の修正】						
(P256)						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
28	木造釈迦如来坐像	永興	臨濟寺	平成 27. 7. 3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した 大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
29	松栄神社所蔵絵図	大分市歴史資料館	松栄神社	平成 27. 12. 25	府内城の権および府内藩の施設の姿を表 した絵図および指図	江戸時代後期
30	合澤家所蔵文書	中島	個人A所有	平成 27. 12. 25	戦国時代に佐賀関一尺屋を拠点として活 躍した若林水重に関する文書	室町～明治時代
31	立小野区有文書	大分市歴史資料館	立小野区	平成 29. 3. 9	江戸時代延岡藩領であった立小野村に残 され伝えられた文書 隣接する村々との境界紛争を中心とし 「金運判状」が残されている	江戸～昭和時代
32	木造五劫思惟阿弥陀如来坐像	片島	片島下区	平成 29. 3. 9	桧材 毒木造 単簡な衣文 ふくよかな 童顔 15世紀の作と考えられ、全国的に造像 例が少ない	室町時代
33	大分市出土同范銅戈	大分市歴史資料館	大分市住吉神社	平成 30. 12. 7	細形銅戈 「伝高島遺跡出土銅戈」と大 在の「住吉神社所蔵銅戈」と同じ鋳型よ り製作された同范銅戈である	弥生時代中期
34	紙本着色徳生範公像	田窪町	長福寺	令和 1. 12. 6	座主が豊後国黄葉宗の重要寺院であった 長福寺の開基であることから、歴史的に 貴重	江戸時代
35	少林寺板碑	木上	少林寺	令和 1. 12. 6	銘文より貞和6年(1350)という造立年 代、造立の経緯が明らかであり、歴史的 に貴重	南北朝時代
イ 史跡						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
36	大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭和 49. 1. 9	五輪塔 高さ178cm 大友氏3代 延享 元年(1744)以降 平成 19. 6. 4 所有者修正	江戸時代
37	丹生遺跡	丹生	大分市	昭和 49. 1. 9	昭和37年～42年にかけて、6回におた って調査	旧石器時代
38	滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	昭和 49. 1. 9	横穴古墳群	古墳時代後期
39	伽藍石仏	永興	個人所有	昭和 49. 1. 9	仏像の彫刻に特徴あり	鎌倉～室町時代
40	府内城跡	荷揚町	大分市	平成 7. 2. 17	黒指定部分を除く城地	江戸時代
41	佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平成 17. 3. 31	材質すべて角閃石安山岩 光形41基	戦国～ 江戸時代初期
42	鶴迫磨崖仏	太田	地福寺	平成 17. 3. 31	地蔵尊「火防(ひぶせ)の地蔵さま」と 呼ばれる	安土桃山時代末期 ～江戸時代初期
43	鶴迫磨崖連碑	太田	個人所有	平成 17. 3. 31	15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の 銘	室町時代末期
ウ 無形民俗文化財						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	概要	参考
44	栴原太鼓	八幡	栴原太鼓保存会	昭和 54. 6. 14	栴原八幡宮の放生会「浜の市」に起源を もつ	
45	深山流 伊与床神楽	端登	深山流伊与床五柱神社 神楽社	平成 12. 6. 16	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に 古儀を伝えている	
46	岡倉神楽	下原	岡倉神社	平成 18. 3. 7	勇壮な神楽であり、活路に活動 また、伝承も計画的に行われている	明治時代～
47	二目川の百手まつり	横尾字二目川	二目川百手まつり保存会	平成 25. 1. 11	毎年1月20日に開催 豊の上での矢を放つ儀式「矢的の儀」 を継承している	
48	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭和 56. 3. 31	江戸時代中期以降に発達 左衛門、猿丸 太夫がある	国選択無形民俗文化財 文化財 県選択無形民俗文化財
49	戸次のほうちよう作り	中戸次	戸次鮎腸保存会	平成 30. 12. 7	大分地方を代表する郷土料理「ほうちよう」 の作り方を継承	

■新旧対照表

新

(P254・P256～257(258))【文化財一覧の修正】

大分市にある市指定等文化財一覧

ク 登録無形文化財 ケ 登録有形民俗文化財 コ 無形民俗文化財

P257 登録文化財(無形・有形民俗・無形民俗)の追加

(P257)

ク 登録無形文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊦	豊後絞りの染色技術	金池町	豊後遊草会	令 6. 2. 21	木綿布の絞り染め技法のひとつ。 豊後絞りの技法を復活したもの。	現代

ケ 登録有形民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊧	友永家所蔵一文人形資料	大分市 歴史資料館	個人所有	令 6. 2. 21	一文人形は「浜の市」の有名な玩具で、 首人形の一つ。未彩色の首人形 11 点 と、首人形製作用の土型 33 点からなる 資料。	明治時代後期 ～大正時代

コ 登録無形民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊨	萩原天神社夏季祭礼 の人形行事	萩原		令 6. 2. 21	造り物小屋での人形披露や山車巡行など の人形を用いた祭礼。大分市東部の山車 行事の古い姿を伝える。	現代

■ 灰色の網掛けは分布図に表示していない

旧

(P254・P256～257(258))【文化財一覧の修正】

(P257)

※前回の最終ページ

エ 無形文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊩	廻橋野の竹細工技術	廻橋野	保持者 2 名	平成 23. 12. 19	長いヒゴを使用した青物系の竹細工技術 大分県在来の古い技術	

オ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊪	羽田神楽	羽田	大分社	平成 17. 9. 27	昭和 45 年創立と新しいが、庄内神楽の 流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる (選択)	昭和 45 年(1970) ～

カ 有形民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊫	鱈網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平成 17. 9. 27	明治 45 年に奉納された漁撈絵馬で当時の 鱈網漁の様子を詳細に描かれている	明治時代
㊬	漁業図大絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平成 17. 9. 27	明治 35 年に奉納された漁撈絵馬で珊瑚 樹採取の船団を描写している	明治時代
㊭	帆足本家酒造 用具一式	中戸次	大分市	平成 17. 9. 27	多くの酒造用具が残り、それらは伝統 的な民具で構成されている (342 点)	江戸時代末期～ 昭和 47 年(1972)

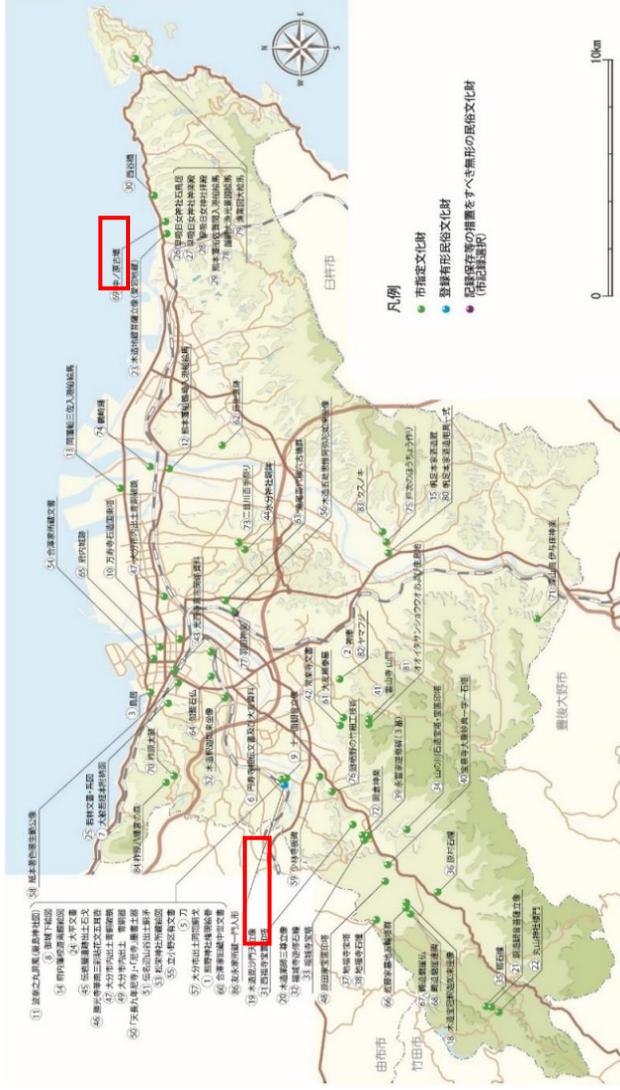
キ 天然記念物

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊮	オオイダサンショウ ウオおよび生息地	岡川	霊山寺	昭和 49. 1. 9	希少種とされている (霊山寺境内)	
㊯	ヤマフジ	寒田	西寒多神社	昭和 49. 1. 9	枝張り 東西約 24m 南北約 5m の範囲 で広がる (西寒多神社境内)	
㊰	クスノキ	下戸次	八幡神社	昭和 49. 1. 9	高さ約 20m 樹冠の広がり東西約 33m 南 北 45m (八幡社境内)	
㊱	柞原八幡宮の森	八幡	柞原八幡宮	平成 2. 9. 12	自然林の残存林 柞原八幡宮境内林	

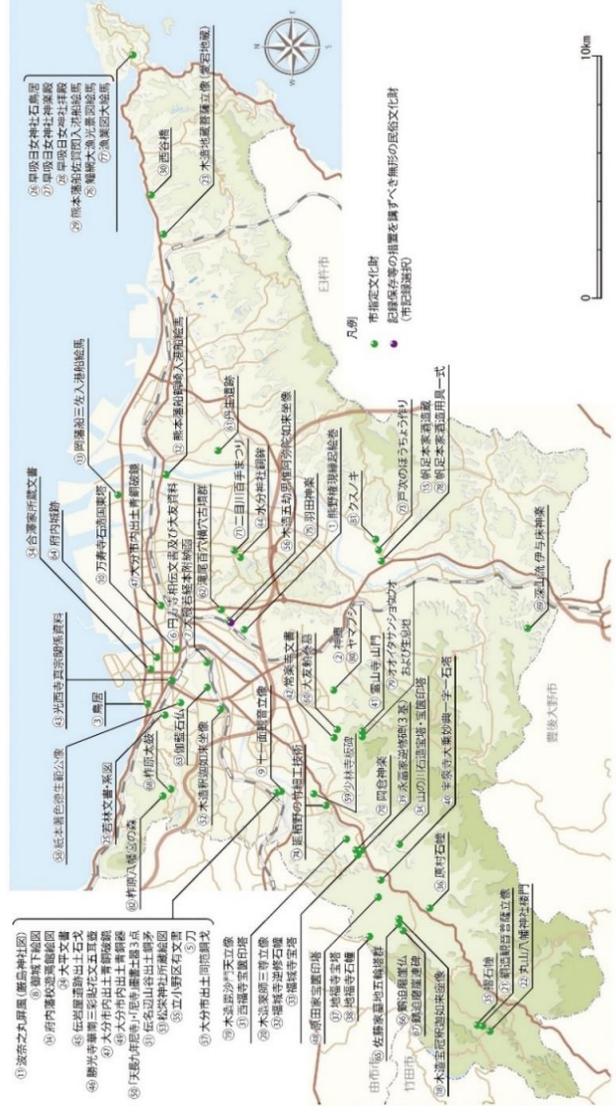
■ 灰色の網掛けは分布図に表示していない

■新旧対照表

新  
 (P258) 【市指定・市登録文化財の分布修正】  
**有形文化財1件、史跡1件、有形民俗文化財1件の追加**



旧  
 (P258) 【市指定・市登録文化財の分布修正】



■新旧対照表

新

(P229)  
**【事業期間の変更】**  
 歴史的風致の情報発信と認識向上に関する事業(平成30年度～令和5年度)

事業名	12.大友プロモーション事業(宗麟公まつり実行委員会交付金)
事業主体	大分市
事業手法 (支援事業名)	市単独費
事業期間	平成30年度～令和5年度
事業位置	市全域
事業概要	<p>大友氏遺跡と関連のある「大友宗麟公」を大分市民の誇りとして確立するとともに、本市の新たな「顔」として全国に情報発信していくイベントを開催するための実行委員会の設立及び交付金の支出や宗麟公まつりの企画・運営などを行う。</p>  <p>パンフレットイメージ</p>  <p>宗麟公まつりの様子</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>大友氏遺跡に関して様々な情報媒体による情報発信を行うことで、学習機会が増えるとともに、市民や来訪者の大友氏遺跡の認識の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

旧

(P229)  
**【事業期間の変更】**  
 歴史的風致の情報発信と認識向上に関する事業(平成30年度～令和10年度)

事業名	12.大友プロモーション事業(宗麟公まつり実行委員会交付金)
事業主体	大分市
事業手法 (支援事業名)	市単独費
事業期間	平成30年度～令和10年度
事業位置	市全域
事業概要	<p>大友氏遺跡と関連のある「大友宗麟公」を大分市民の誇りとして確立するとともに、本市の新たな「顔」として全国に情報発信していくイベントを開催するための実行委員会の設立及び交付金の支出や宗麟公まつりの企画・運営などを行う。</p>  <p>パンフレットイメージ</p>  <p>宗麟公まつりの様子</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>大友氏遺跡に関して様々な情報媒体による情報発信を行うことで、学習機会が増えるとともに、市民や来訪者の大友氏遺跡の認識の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>